からしだね

からしだねの由来　マタイ 13 章 31 節、マルコ４章 30 節、ルカ 13 章 18 節

ホームページアドレス　http://mizumaki-church.sakura.ne.jp

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南１丁目 35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第 409 号

「神が清めたものを清くないなどと、あなたは言ってはならない」（使徒言行録 10･15）

フランシスコ・アシジ　谷口尚志

主のご復活、おめでとうございます。そして、聖霊によって集められた教会の誕生、心からお祝い申し上げます。復活の証人として世の中に派遣されるため、聖霊の招きによって集められたわたしたち。教会が存在するのは“派遣されること”を前提としているので、わたしたちは自らが復活の証人であるという自覚を常に持っていなくてはいけません。聖木曜日のミサでの説教の繰り返しになりますが、「わたしがあなたがたにしたことが分かるか。急いで出発しなさい。」というイエス様のことばが響き渡ります。過越の神秘は、わたしたちを“派遣”するための神の意志の現れなのです。

ところで、毎週木曜日に行っている「聖書に親しむ会」は現在、使徒パウロのコリントの教会への第一の手紙を読み進めています。短い範囲を指定し、事前に分かち合いたい内容をまとめておき、当日、それを発表して分かち合うという形をとっています。次回分の範囲の解説文をお渡しし、分かち合う内容を準備する時の参考にしていただいているわけですが、いつも理解しづらい説明文となっているようで申しわけなく思っています。最近は気合を入れて二枚つづりのものを準備していますが、奥深いパウロの思いを前にし、毎回のようにわたし自身の言葉足らずのところや、信仰の足りないところなどを実感してしまいます。それでも、初代教会の信徒に向けられたメッセージは、「いつの時代も復活の証人としての使命に火を点けるもの」であるとの確信は揺らぐことがないので、任期中はこの作業を自分に与えられた使命として受けとめていこうと思っています。

さて、聖霊降臨によって誕生した教会はその当初から世の中に“派遣”されていきました。神は熱心なユダヤ教徒でキリスト者を迫害していたパウロ

旅の話⑸・・・・・・・・・・・・・・３面
となりひと・・・・・・・・・・・・・４面
教会学校の取り組み・・・・・・・・・５面
幼稚園から・・・・・・・・・・・・・６面
委員会等報告・・・・・・・・・・・・７面
お知らせ・・・・・・・・・・・・・・８面

を回心に導き（**使徒言行録 9･1-22 参照**）、後に異邦人のための使徒となるこのパウロの貢献もあって「**ユダヤ、ガリラヤ、サマリアの全地方で平和を保ち、主を畏れ、聖霊の慰めを受け、基礎が固まって発展し、信者の数が増えていった**」（**使徒言行録 9･31**）とあるとおりです。教会だけを見ても主の復活の証人たちがその証を伝え始めてから約 2000 年。約 2000 年の歴史（ユダヤ人に明かされた啓示の歴史は含まず）を踏まえると、常に“派遣されること”が前提の教会は、あらためてその時代における使命を果たすように促されています。社会情勢は日ごとに変動しますし、価値観も変わります。また、科学技術の進歩に比例して倫理観や善悪の基準をどこに置くかなども常に問われ続けます。教会がこの状況に対応するためにはどんな姿勢を貫いたらいいのでしょう。そのためにも次の言葉を紹介したいと思います。「**神が清めたものを清くないなどと、あなたは言ってはならない**」（**使徒言行録 10･15**）です。神によってつくられた被造物のうち、地を這うものやあらゆる獣などを汚れたものとしてペトロが認識していたことを神にとがめられた時のことばです。

私はまず、これからの教会がこれまで目に留めていなかったものを関係もないし、不要なものであるなどと認識したりすることを正す姿勢を持つべきだと考えています。確かに、新しいことを始めたり、これまでの認識を変えたりすることに対して抵抗があるかもしれません（実際、覚えることも増えるので）。しかし、残念ながら伝えなくてはいけないことがたくさんあるのに伝えきれない、また、伝わってもいないのが現実です。死活問題と言ってもいいでしょう。教会は神のことばに突き動かされ、年齢や才能、置かれた環境に左右されずに証人とならなくてはいけません。ありとあらゆる被造物や機会を用いて証する者であり続けることができますように。

旅の話 （5）　　岩本光弘

秋に行ったイスラエルの旅は楽しいばかりでしたが、別府でミッションスクールの先生をしている山の友人が、春のイスラエルはきれいだと言っていましたので、河谷さんに春のイスラエルはどうですかと言うと、それなら春に行きましょうと一年半後に行くことになりました。春のパレスチナ地方は花盛りでした。ガリラヤ湖畔のペテロの家があったカファルナウムは花のトンネルになっているほど花が咲いていました。北のゴラン高原も花盛りで春に行って良かったと思いました。

この時はどこも巡礼者で一杯でした。聖墳墓教会は巡礼者で長蛇の行列でした。私たちは周りを通り過ぎるだけでした。私は前回に中まで入っていたのでよかったのですが、ほかの人は残念そうでした。この時は聖墳墓教会から出たときに皆既日食が始まりました。ルカによる福音書 23 章 44 節に書いてあるのと同じようにあたりが暗くなり、イエス様が十字架にかけられたときと同じような状況になりました。偶然とはいえ貴重な経験でした。

私が聖書を学び始めた時に指導してくれた神父から、マルコの福音書を理解するための足掛かりとして聖書の内容を「人・場所・時間」で分析する方法を指導され、三つの要素に分析してみる勉強をしました。イスラエルには続けて二回行ったので福音書に書かれている場所の地理がはっきり把握できました。地理的な見方の実例として習ったことで「登る・降る」があります。神に近づくことの表し方として「登る」という表現が入っています。

神殿があるエルサレムは地中海側からもヨルダン川からも登ります。エルサレムは標高 850m 所にありますから、エルサレムに行くにはどちらからも登っていかないといけません。ご変容があったときも山に登っていきました。

聖書の舞台となったところに、続けて二回も行ったことで福音書を読むときに聖書の舞台となっている場所が理解できましたので聖書が現実的に見えてきました。

その後も河谷さんの旅行社の巡礼ツアーで各地へ出かけました。イスラエルで一緒だった人や別の旅で一緒に行った人も多くて毎回楽しい旅でした。そして聖パウロが歩いた道の 90%を歩くことになり、最後はローマの聖パウロ終焉の地と聖パウロ大聖堂でした。

その後、河谷さんからアルメニアとルーマニアへの旅に誘われ、肥塚神父と一緒に行きました。その時もこれまでの旅で友人になった人たちと一緒でした。ノアが漂着したアララト山の眺望や壁画で有名なルーマニア北部の修道院群は今もはっきりと記憶に残っています。

河谷さんには「モーセが歩いた道」と「トルコ」に行きましょうと話していたのですが、目的地のシリア・ヨルダンで紛争が始まり行けなくなりましたし、河谷さんが病死したので、私の聖書の旅は終わりました。河谷さんは大学を出た後に聖書の勉強をするためにヘブライ大学で勉強をした人で、学者並みに聖書が隅々まで頭に入っていた人でした。河谷さんが亡くなったのは残念でたまりません。

となりひと

教会日本語交流会始まる

３月20日

外国人のための日本語学校が、ボランティアによって始まりました。初回は３人のベトナム人実習生が参加して、日本語のテキストを見ながら勉強しました。

いつも侍者の奉仕をされているNhật ニャットさん、北九州市八幡西区の「かば田食品」で働くAnne アンさん、Huyen フエンさん。教える側は日本語のベテラン２人。この日のテーマは、単身赴任で遠く離れた父親宛に書いた子供からの手紙の内容でした。

一人一人が読み上げては難しい発音を何度も繰り返し、文章の意味を理解しようと熱心に質問していました。一つの言葉が複数の意味にもなる日本語は、生活習慣を学ぶことも必要になってきます。

説明が難しい時はお互いが判るように英語が使われていました。

４月１７日ご復活ミサにベトナム人青年たちが、着物姿を披露してくれました。ベトナム青年への着物着つけの発案者は梅ノ木地区の対馬須美江さんで、現在小倉南区の「前園着付け教室」で着付けを教えておられる関係で仲間を募って早朝から着付けをしてくださいました。お仲間は、太田美智子さん、小森佳恵さんのお二人。３人で女性１０人、男性３人に着付けをしてくださいました。

ミサ後、お礼にとベトナム青年たちが全員で、歌と踊りを披露してくれ、楽しい御復活祭となりました。

教会学校の取り組み

～ウクライナ危機人道支援募金～

ウクライナ危機人道支援で募金活動

３月２７日、教会学校の子ども達が、戦乱が続くウクライナのために緊急の募金活動を行ってくれました。

この日参加してくれたのは宮本きぬかさん、宮本まさきさん、樽角たつきさん、樽角ともきさんの４人とご家族、教会学校関係者の皆さん。ミサが２部制なので、一部はミサ後に、二部はミサの前に、聖堂入り口に立って行いました。一部と二部の間は教会学校の勉強をがんばりました。

そして、集まった募金額は９１．７５６円。水巻教会だけで年末の街頭募金並みの金額を集めることができました。信徒の皆さんのご協力に感謝いたします。

集まった募金は「ウクライナ危機人道支援」として、カリタスジャパンに送付しました。

子ども達が求めているのは少しでも早く戦争が収まること。平和が来ること。私たちも心を一にしてそれを望みたいです。

水巻聖母幼稚園　マリア子どもの家　５月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

〈水巻聖母幼稚園〉

４月７日に入園式・始園式があり、新学期が始まりました。１つ大きな学年になり、新しいことに挑戦する姿が見られます。入園したお友達も少しずつクラスに慣れ笑顔いっぱいです。

これからたくさんのことを経験し実りのある日々となるよう見守っていきたいと思います。

先日園庭に鯉のぼりを出しました。子ども達はおよいでいる姿を見て喜んでいました。今年度も安心して過ごせるよう寄り添っていきたいと思います。

水巻聖母幼稚園　ＴＥＬ　：　093 201 9559

e-mail：ContactUs@mizumakiseibo.ed.jp

〈マリア子どもの家〉

2022 年度になりました。

ご入園・ご進級　おめでとうございます！

今年度は、13 名のスタートになりました。今年も色々なことをして楽しく過ごしましょう。いつも一緒に居て下さる神様、今年もお守りください！

畑の、一番南側の区画にコスモスの芽が、可愛く「こんにちは！」と言っているように葉を伸ばしていました。この春の温かさに、急いで起きたようでした。

昨年咲いたコスモスの花が種を作り、落ちたのでしょう。３本では寂しいので、「早咲きコスモス」を買ってきて、子ども達と種を蒔きました。小さな細長い種さん、これから、だんだん暑くなるけれど、暑さに負けず大きくなって可愛い花を咲かせてくださいネ。

TEL　：　050　5212　7759

HP　：水巻町マリア子どもの家

水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家

園長　水口　由美

教職員　一同

委　員　会　等　報　告　2022 年 4 月分

４月度小教区委員会　4月3日

１．行事予定

・５月　１日(日)　小教区委員会
・５月　３日(日)　18 時～ベトナム語ミサ。
・５月１５日(日)９時ミサ後～日本語交流会（名称を「学習会」から「交流会」に変更)。
・５月 29 日（日）９時ミサ　１回のみ。ミサ後、信徒総会。

２．議題

（１）各委員会報告

①納骨堂委員会

一組の納骨室の返還依頼があったため、10 万円を返金する。別に一組が納骨室を新規購入。

②広報委員会

・「からしだね」は毎月発行することとする。
・Facebook（フェイスブック）の運用を始めている。担当者は福嶋氏。現在、「一週間のお知らせ」が掲載されているが、今後、まずその閲覧方法を小グループや個人に対して伝えていく。
・ホームページは「からしだね」専用のものとなっている。これまで発行されたものを閲覧できるので、教会の歴史を振り返るためにも維持していきたい。掲載作業を行うのはおもに吉川氏。
・掲示板の活用について。“みことば”や毎月のカレンダー（予定表）を A3 サイズで掲載する。

③典礼委員会

・３月 20 日（日）の典礼委員会にて聖週間の典礼について確認作業を行った。受難の主日～聖金曜日までは答唱詩編、詠唱のみを全員で歌唱し、復活徹夜祭、復活の主日における聖歌はすべて歌唱することを確認した(受難の主日の枝の行列は行わないが、復活徹夜祭の光の祭儀、行列、キャンドルサービスは行う)。なお、復活徹夜祭の共同祈願文の作成をお願いしたい（司会者、役員会、レプトン会、ベトナムの方)。
・３月 27 日（日）13 時半～待降節から移行する新しいミサ式次第のための研修会を行った。次回は信徒全体に呼びかけて行う（信徒総会後を予定)。

④営繕委員会

・現在、黒板を利用して掲示物を貼り出しているが、今後は既存の聖堂入り口の掲示板を改修して再利用したい。今後、掲示物の管理者の選定もしなければならない。
・鐘楼を撤去した。取り外された鐘は 2 階のベランダあたりに移設を検討。
・尖塔部分について。現在、蛍光灯の電線が園舎から引かれているため、屋根の葺き替え工事の際に教会側からに引き直す工事を行いたい。排煙装置が機能していないため、建築法違反となっている。ワイヤー部分の欠損が原因とみられるため、サッシ業者に検証してもらったうえで今後の対処を考えたい。

（2）各委員会における協力者の募集について（総務より報告）

・４月 24 日までに返事をいただき、集約して報告する。

（3）小グループ「こころの会」発足に関して

・岡本輝男氏より「こころの会」を発足させたいとの要望を受けた。キリスト教信仰に関わることや増加傾向にある外国籍の方たちへの理解を深めるなどのため、DVD や Blu-ray などに録画したテレビ番組などを図書室の TV、人数が多ければ映写機を用いて聖堂などで視聴し、思いを共有するための集まりにしたいとのこと。→全員拍手で承認。

（4）「冠婚葬祭の会」代表者の依頼について

・現在、代理をお願いしている状況なので代表者を決めなければならないが、平日でも動くことのできる信徒に限定されるのは否めない。まずは一週間のお知らせやミサ後のお知らせを通して募り、主任司祭に申し出ていただくようにする。

5月のおしらせ

★信徒総会について★

日　時：5月29日(日)　９時ミサ後

信徒総会がありますので、この日のミサは、９時のミサ　１回のみです。気を付けられてください。

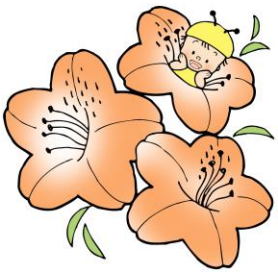
★特別献金★

カテドラル特別献金　１８，３５７円
四旬節愛の献金　　１０７，６２０円
聖地のための献金　　５，８９０円

ご協力、ありがとうございました。

人 - ひと

【洗礼】新しい仲間が増えました！

◇大原　洋一さん（洗礼名ヨゼフ）

４月１７日復活徹夜祭の日に洗礼を受けられました。大原さんのためにお祈りしましょう。